



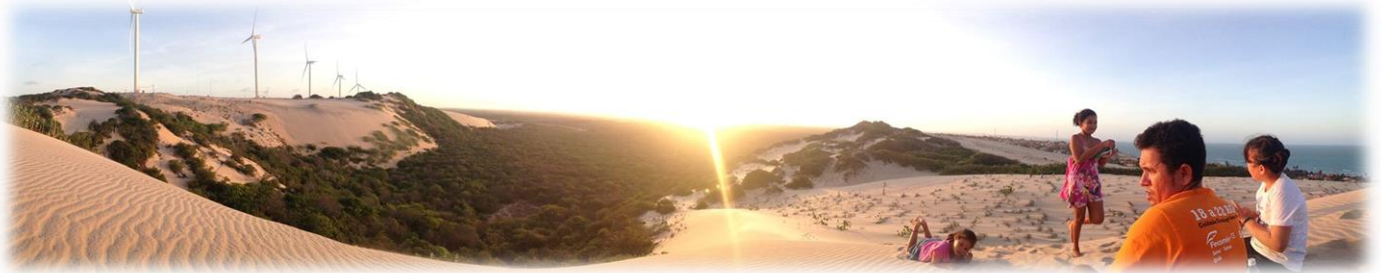
CANOVA だより

55

2015年1月発行

文・写真_鈴木真由美 編集_星久美子・真野由紀 発行_光の子どもたちの会
Praia do Esteveo s/n, Canoa QUebrada, Aracati-CE-Brasil CEP:62800-000

FELIZ ANO NOVO !



新年 明けましておめでとうございます！

ブラジルイヤーと呼ばれた 2014 年。そして、新しい年に向けて様々なことが動き出しています。

昨年はアラカチ市教育局からの食材支援が 10 月半ばに途絶え、11 月末には用務員を他校への応援に回してくれという通達がありました。保育園及び学童教室では、通常通り授業を継続していくために、教職員とボランティアが力を合わせて頑張っています。子どもたちも積極的に庭掃除を手伝ってくれるなど、一人ひとりの努力のおかげで、2014 年も無事に終わることができました。毎年の事ではありますが、11 月頃になると市政府の経費が底をつき、人員や物資削減が実施されます。私達の保育園や学童教室の教師はすべて、私たち自身で賄っているため問題はありませんが、ある小学校では教員不足になり、授業の継続が危ぶまれる事態に陥りました。

現地で活動を継続していくためには、ブラジル国内における支援の強化や市政府との協力関係の安定が不可欠ですが、現状として、日本からの支援があるために、この活動が継続できているといっても過言ではありません。今後ともこの地域で活動を継続していくため、今後とも皆様からのご支援・ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

2015 年。サンパウロのモンチ・アズールで研修していたパトリシアが戻り、保育園の担任教師として復職します。また、現保育園担任教師ではあるエリアーナは、しばらく私達の活動を離れることとなりました。

新しい体制での 2015 年。応援のほど、よろしくお願いいたします！！！！

遂に！

カノアがお茶の間に登場！

世界の秘境に嫁いだ日本人妻

テレビ東京の「日曜ビッグバラエティー」内、「世界の秘境に嫁いだ日本人妻」に鈴木真由美さんが出演します。2月放映予定。カノアの海、砂丘や生活の様子、保育園の子どもたちをご覧ください！

Go Girls ! *Viva Meninas !

翻訳:鈴木真由美



世界へ羽ばたく！

「光の子どもたちの会」の卒業生

皆さんはじめまして！

今回、私の人生と学校について書かせていただける機会をいただき、本当にありがとうございます。私は Viviane da Silva Andrade (ヴィヴィアーニ) です。1995 年に生まれ、カノア・ケブラーダという海岸地域に住んでいます。その小さな貧しい家で素晴らしい家族と共に育ちました。

人生の早い段階で私は学校生活を体験することになり、それが今、人生の基盤ともいえる、「責任を持つこと」「将来のために自分自身の力で生きていくこと」

を学んだ場所であると言えます。「光の子どもたちの会」が運営する保育園に 3 歳で入園し、甘く、優しい先生達の素晴らしい忍耐力の中で、様々な活動を行いました。この時の先生達は今でも私の心の中に住む“Tias” (チーアス: 女性の先生を小さな子どもが呼ぶ愛称) です。私の人生の中でたくさんの愛を受け取った時代もありました。現在、その保育園の子ども達が作った数々のアート作品を年度末の作品展で見ると、とても感動し、自分もこんなことをしたなあと懐かしくなります。

その後、同じ団体が運営する小学校就学年前教室に進み、小学校に入学すると学童教室にも通うようになりました。そこでは、様々なスキルをつけるための実践的な活動が用意されており、マルシアーノ先生が教えてくれました。他にも外国からのボランティア達からは他の国の文化や様式、言語を学ぶことができました。この時代に私は自然を大切にすることや環境教育を学び、私の性格形成に大きな変化をもたらしたと思います。この素晴らしい体験の数々を私は人生のはじめに体験することができ、それは本物の「教育」であったと強く感じています。その後の高校 3 年間は私の大きな自慢です。私は高等専門学校の観光学科に進学し、2013 年無事に卒業することができました。

2014 年、素晴らしい機会に恵まれました。それは他の国、ドイツを体験できるというものであり、二度考えることもなく、そのチャンスに飛び込むことに決めました。ドイツで、ある団体の活動に参加し、そこで知り合った家族のお世話をするというもので、2015 年に言語や文化を学ぶために 1 年間ドイツへ留学することが決まりました。その 1 年間で学んだことを生かして、将来的にはドイツの大学で私の夢である心理学を学びたいと考えています。心理学を学んだ後は自分の国に戻り、その経験を生かして私の国のより良い発展に役立てたら嬉しいです。

こうした素晴らしい機会をくれた団体「光の子どもたちの会」、

そして先生たちに感謝します！心の底から・・・

カノアニュース*Novidade em Canoa



テレビで放映されました！

ある日、突然やってきた国営放送グローボのレポーター。「あなた達がこの村で活動しているのを知ったのですが、その活動についてぜひ、取材させていただきませんか？」私達の活動を見学したいという人が来ることはたまにあるので、そんなたぐいかと思っていると、なんと、テレビに放映されるとのこと。しかも、今から撮影！

まず、なぜこの村で保育園を始めることになったのかを話しました。日本人の私が地球の裏側に来て保育園を設立した事(一人で設立したわけではないですが)に感銘を受けたらしく、夫との馴れ初めなどなどを含めた映像を撮ることに。また、娘達と日本語で会話をしていることに驚き、日本語を話してほしいと娘に直談判。



長女が頑なに拒否したため、次女が代わりに参加することになりました。既に昼近くになっていたので保育園は諦めて学童教室へ。学童教室を訪問すると、子ども達が部屋を掃除し、給食の準備から片付けまでする姿に甚く感動し、その様子を撮影することになりました。事前に知らされておらず電撃取材でしたが、ありのままの姿、活動を撮影してくれたことは逆によかったのかもしれません。

その後、別の系列番組である「TV Diario」からの取材も受けることになりました。番組を見てぜひ見学させてもらいたいという人がフォルタレーザから来るようになったり、大学関係者が実習をさせてほしいと依頼をしてくたりと、



反響はすごいものでした。私達の活動に対する理解者が増えたことは間違いありません。後はその人たちが「支援者」「協力者」となってくれるように努めていきたいと思っています。

こちらから番組をご覧ください(ポルトガル語)

<http://g1.globo.com/ceara/cetv-1dicao/videos/t/nosso-ceara/v/criancas-sao-educadas-por-japonesa-que-casou-com-pescador-cearense/3548959/>



子育て日記より

よく食べ、よく寝る。我が家の娘二人はそのおかげなのかすくすくと成長しています。そして長女は小学4年生で、身長145cm、足のサイズはなんと24cm!足は私よりも大きくなってしまいました(笑)最近はお太りやすい体質を気にしてか、毎晩縄跳び。その遊び(!?)が気に入ったのか、次女も一緒になって夕食前に二人で運動しています。何をしても楽しく、遊びながらという二人の姿を見るのは嬉しいのですが、喧嘩をするときも人一倍。元気に大きく成長してくれている娘達。子育てを支えてくれている全ての人たちに一言。「いつもありがとうございます!!」

ボランティア紹介 * Apresentação da voluntária nova



上田 祐華

2014年10月より大学を休学して光の子どもたちの会の学童教室でボランティアとして活動しています。
カノアでの日々をご紹介します。

こんにちは！カノア・ケブラーダで半年間ボランティアをしている上田祐華です。さまざまな出会いやチャンスが重なり、憧れだったこの地に来ることができました。毎朝窓を開けるとキラキラの青空と気持ちのいい風に迎えられ、朝の仕事終わりにはサーフィンをしに海へ行き、午後は学童教室で子どもたちの笑顔に満たされる毎日です。週末はお隣のちびっ子と砂丘へ登って夕日を見たり、友人と集まって手料理パーティーをしたりと、私生活も充実しています。

ここでの私の主な仕事は、毎朝7時半からの学童教室の掃除と、1時から5時までの7~9歳クラスでの、先生のサポートです。これに加えて毎週金曜日に様々なテーマのワークショップを行っています。4回に渡って行ったワークショップのまとめで行った地球を表現したアートのアクティビティは大成功でした。

今はだいぶ生活に慣れ落ち着いていますが、最初の頃は何もかもが初めてで、言葉の壁も大きく、辛かったことを覚えています。まず、一人暮らしをすること自体が初めてだったので、家事全般が不安でした。自分の中の新しい一面を沢山見つけて、良い人生経験になっていると実感すると同時に、様々なカルチャーショックを日々受け、新鮮さを楽しんでいます。

今までの自分の生活から一番かけ離れていることと言えば、やはりこの素晴らしい自然です。前を見れば見渡す限り雲一つない真っ青な空、海、そして後ろには広大な砂丘。朝は眩しいほどの太陽を浴びて、夜はその名の通り「満天の星空」を見上げています。すっかりスローライフを楽しんでいます。少し歩けばスーパーやレストランもあり、何一つ文句の無い環境にいる私は、未だに「ここにいること自体が信じられない」「これが本当に、日本と同じ地球にある場所なのか」と頻りに疑問に感じてしまいます。

いくらこのことを説明しても、現地の人は微塵も理解してくれませんが(笑)

「ブラジル人には日本人とはどこか違う温かみがある」とここに来る以前から感じていたのですが、この村では特にそれを肌で感じます。元々3家族から始まったこの村は、「村人は皆家族」という考えが根付いています。学童教室に通う子どもたちの名字を見ていると、違う家族のはずなのに代々受け継がれている同じ名字を持っていて、まるでこの村を作り上げた3家族のルーツを辿っているような不思議な感覚に陥ります。まるでこの村の歴史を見ているようで、目の前にいる子どもたちが偉大に思え、愛おしくなります。毎日誰とすれ違うにもまずは笑顔の挨拶から始まり、遠くの人にも大きく手を振り、いつでも気さくに話ができます。時には強くハグしてくれて、安心させてくれるこの村の人々に、私は日本人との違いを強く感じているのかもしれない。このようなことは Estevao 村特有のものであり、日本ではなかなか起こりえないシチュエーションだと思います。

まだまだ話したいことは山ほどあるのですが、またいつか…。



国内活動＊Atividade no Japão

🕯️ キャンドル作りワークショップ @西荻窪ブラジルバー アパレシーダ(2014年7月27日)

キャンドルアーティストのトウノミカさんを講師に迎え、ワークショップを行いました。作り方は意外と簡単で、ロウでできた緑、黄緑、黄色のサイコロのようなキューブを、紙コップやシリコンのカップケーキ型に自由に敷き詰めます。色とりどりのキューブを型一杯に詰めたら、温めた透明のロウを流し込み、固まるのを待ちます。ある程度固まったら型から出して、ロウが温かくて柔らかいうちに天然石やカノアの貝殻を埋め込んで飾り付けします。固まったばかりのロウは、手で持てる程の温度で、心地よい温かさでした。



キャンドル作りのあとは、オーナーの藤本久美さんの手作りココナッツ＆バナナケーキと、ブラジルのカシューナッツなど頂きながら、キャンドルを囲みました。温かい光に包まれながら時間がゆったりと流れていきました。炎の光が飾った天然石が反射したり、貝殻の影がゆらゆらと映ったりして幻想的な空間でした。

今回キャンドル作りを教えてくださいましたトウノミカさんのブログ↓

(<http://ameblo.jp/tonomika-candle>)

🏠 よこはま国際フェスタ @象の鼻公園(2014年10月18、19日)

光の子どもたちの会が参加するのは去年に続いて2回目。通りすがりにブースに立ち寄ってくれる人から、ブラジルに興味のある人、そして私たちの団体に関わりがある人、沢山の人が訪れスタッフは常に大忙し！特に、国内イベントに以前参加してくれた人が来てくださった時はとっても嬉しい気持ちになりました。“繋がり”って大切ですね。ちびっ子のお手伝いもきてくれて、一緒に盛り上げてくれましたよ～！



🍲 ブラジル料理教室 @ライフコミュニティー西馬込(2014年11月30日)

毎回大人気の料理教室。総勢20名以上の方たちにご参加いただき、ムケッカ、マンゴーサラダ、フルーツチーズケーキを作りました。今回の講師は、平塚えれな先生。私たちの会でブラジル料理を教えてくださいましたのは初めてで、楽しいトークと共に美味しく作るコツを丁寧に教えてくださいました。



ブラジル料理教室の魅力は、美味しい料理もちろんですが、なんととっても様々なつながりで参加してくださった方たちが、老若男女問わず気軽に楽しくコミュニケーションをとれるところです。参加者みんな楽しい時間を共有できたことが、なにより嬉しかったです。またこのような機会を作っていきたいと思います。あのブラジル料理食べたい！作ってみたい！というものがあれば、お気軽にリクエストしてくださいね☺

2015 イベント情報 * Informação dos eventos

※お気軽にお問い合わせください。詳細は以下からでもご覧いただけます。

フェイスブック:「光の子どもたちの会」検索 ホームページ: <http://criancasdeluz.org>

- 1月25日(日) ブラジリアンライブ@ブラジル学校アクアレラ(神奈川県厚木市)
- 3月29日(日)13時~ @JICA 横浜 会議室1 総会&ブラジルポルトガル講座(予定)
- まゆみさんを囲む会@西荻窪ブラジルバー アパレシーダ (日時未定)

カノアからのお願い * Um pedido de pelos moradores de Canoa

コミュニティーセンター修繕のための支援金を募集します！



2007年、エステーヴァン村住民協会念願のコミュニティーセンターが「ゆうちょ財団」の助成金で設立されました。日本人ボランティアや村の青少年グループによって管理・運営されていた建物は現在、女性グループが中心となり、パン作り・販売を始め、民芸品の制作・販売が行われています。

しかし残念ながら建物の損傷が見られ、その修繕費を賄うまでには至っていない現状があります。

今回、過去にこの助成金で行ったプロジェクトに限り、「ゆうちょ財団」に再度助成資金を申請できるという話が舞い込みました。助成最高額は100万円です。修繕費用以外の支出を実現させるためには、助成金以外に**30万円**は必要です。

修繕支援に賛同してくださる方を募っています！

備考欄に「修繕プロジェクト」と記入、または振込み名義の前に「シュウゼン」と付けてお振込みください。



「学資支援」も随時募集しています。備考欄に「学資支援」と書いてくだされば、保育園の現地スタッフが通う大学の毎月の授業料+交通費+教材費(計約18,000円)に充てさせていただきます。

ありがとうございます＊Obrigado

平成 26 年 6 月 14 日～12 月 2 日現在までに会費及び寄付を頂きました皆さま及び物資支援を頂きました皆さまのお名前を下記に記載いたしました。この場をお借りして、心より御礼申し上げます。本当にありがとうございました。

会費及び寄付を頂きました皆様（以下順不同）

太田朋子 さま	桑村寛子 さま	村上誠 さま
大谷タカコ さま	ベビーキルトなのはな さま	吉田可南子 さま
金本リセ子 さま	星久美子 さま	(株)虹の葉

物資支援をいただきました皆様（以下順不同）

谷村祥子 さま	Familia Bastos	FVJ - Faculdade Vale do Jaguaribe
---------	----------------	-----------------------------------

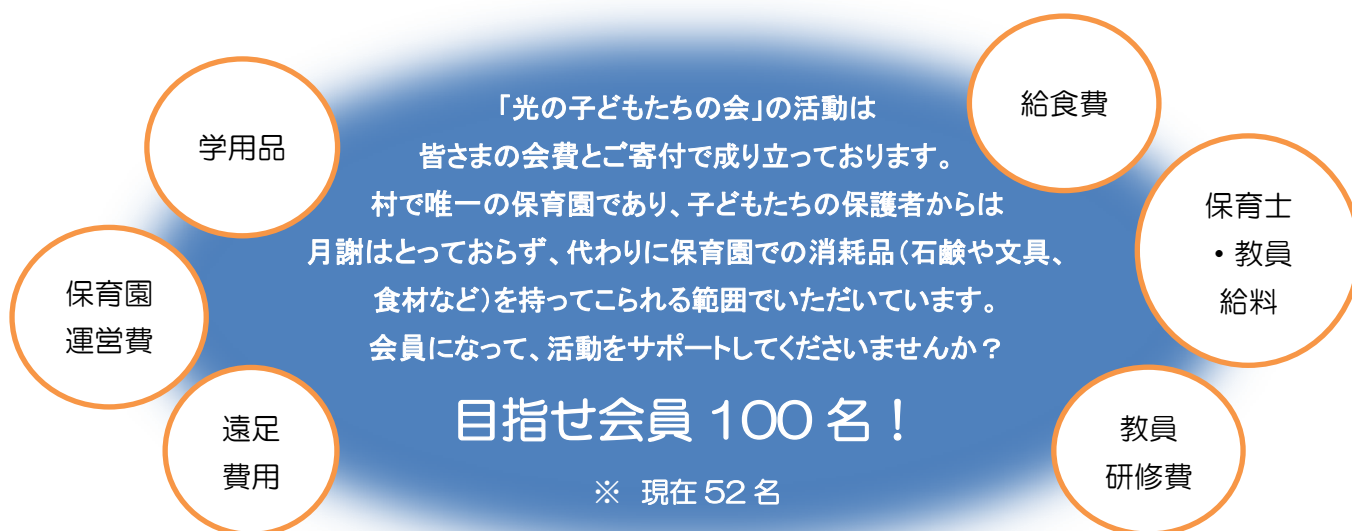
ボランティアの皆さん、どうもありがとうございました！（以下 2014 年 7 月より現在まで）

2014/8/12～8/15: 谷村祥子・・・学童教室において貝殻アクセサリ作り、日本文化や手遊び

2014/8/14～8/21: Jan(ヤン、ドイツ人、作業療法士)・・・作業療法を個別実施

2014/8/ 15～現在: Vivianne(ビビアーニ、ドイツ人)・・・保育園にて障がい児担当。英語及び手仕事の授業

2014/10/6～現在: 上田祐華・・・学童教室助手、「平和」授業実施



年会費（五千円）・ご寄付のお振込み方法は 4 つ

1. 自動引き落としによる振込み

自動引き落とし希望の口座のある金融機関で手続きができます。引き落とし日、金額をご指定いただけます。尚、ゆうちょ銀行の場合は以下の〈2. 郵便振替〉と同じ口座番号ですが、他金融機関からの振込の場合には〈3. ゆうちょ銀行振込〉の口座番号となりますので、ご確認ください。

2. 郵便振替

口座番号: 00280-1-41787

加入者: 光の子どもたち-カノアの活動を支える会

3. ゆうちょ銀行振込

名義: 光の子どもたちの会 店名: 〇二八(ゼロニハチ)
店番号: 928 普通預金 口座番号: 5552598

4. インターネットよりクレジットカードで振り込み

光の子どもたちの会ホームページ
(http://criancasdeluz.org/inicial/index_jp.html)より、
お振込みいただけます。

今日のカノア *Hoje em Canoa



学校行事 待ちに待った遠足！

年に一度の遠足が10月にありました。毎年どこに行こうか教職員会議で話し合うのですが、近くのプールに行くことになりました。

1ヶ月前から予約し、値段の交渉も終了。アラカチ市教育局には無償でバスを提供してもらいました。残すは当日を待つばかり…

だったのですが、遠足の3日前にプール施設の管理者から突然、「実

はその日にアラカチ市の“教師の日”のお祝いがあるので、別の日にしてほしい」との連

絡が。聞いてみると、教師の日は10月15日の水曜日だったのだが、金曜日の方が都合が良いと急な連絡が入ったとのこと。仕方なく諦め、昨年と同じ個人経営のプールに遊びに行くことになってしまいました。



そんなこんなではありましたが、子ども達にとっては目的地がどこであれ皆と一緒に遠足に行くということの方が重要らしく、当日は朝から大盛り上がり。行きのバスの中では楽器を持ちこんだ子ども達と一緒に歌うは演奏するは大騒ぎ。バス酔いする子どももなく、無事に到着。池の魚を見てはしゃぐ子ども。カジューなどの果物(カシューナッツの果実)を食べて喜ぶ子ども。みんなそれぞれに楽しんでいました。遠足が余程楽しかったのでしょう。プールや公園で遊び疲れたのか、帰りのバスは行きとは

正反対にし～んと静まりかえり、みんなすっかり寝ていました。

今回の遠足はW杯応援企画として実施された「大阪市榎本地域」からの寄付により実現されました。また、カノアでもビンゴによるファンドレイズを実施。協力していただきました皆さん、本当にありがとうございました！

*クリスマス発表会では、
演劇や歌を披露しました！*



みんな笑顔でテレビ出演！



*ヘガッタはジャンガーダ(漁で使う伝統的な
いかだ)のレース、優勝は誰？*

お問い合わせ先： 代表 鈴木真由美、日本事務局長 堀池真輔

〒221-0841 神奈川県横浜市神奈川区松本町 1-7-1 TEL/FAX 045-321-1824 horiike59@msi.biglobe.ne.jp

フェイスブック「光の子どもたちの会」 ホームページ: <http://criancasdeluz.org>